

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・8・26(月)
南NEWS no 56

反省！！

夜中に録画していた中学の全国大会決勝を観ました。ただ前に蹴るだけのチームとドリブルとショートパスを使って攻めるチームの対戦でした。

観戦中、GKがボールをキャッチしてから蹴るまでの時間を数えていました。6秒以内に蹴らないと間接フリーキックを取られてしまいます。あれ？越えているよ！？等と想いながら。

尾瀬でも、それがあったのです。コーナーキックの守備の時のボディシェイプが反対向きだとクリアしたつもりでもボールは自陣ゴールに飛んでいきます。

尾瀬でも、それがあったのです。大会に参加するときは、ゲーム形式の練習で、基本的な戦術や5つ観る・同一視のボディシェイプ等のチェックしておくべきだったなど反省しています。

南の子どもたちもゴールデンエイジ、尾瀬でも、即座に修得し、理解して、次の試合では修正しているのは嬉しい光景でした。
by 南の安版万

【6年生試合レポート】 第39回 むさしの招待 尾瀬花咲カップ

日時 2019/8/21～22(水木)
会場 群馬県片品村 アルモンテフットボールパークG



《試合のめあて》

渡り廊下を使う、声を出してコーチング、競り負けない、ワイドなサッカーにする、5つ観る

《結果》 1日目予選リーグ

- 南八王子1-2飯塚SC 前半0-1 得点=セイジュン君
- 南八王子0-2川越福原 前半0-1
- 南八王子1-2大和ジュニオルス 前半0-0 得点=セイジュン君

《当日の様子》

最終学年夏の恒例イベントの尾瀬遠征で、来月から再開するU12の後期リーグに勢いをつけたいところです。

第一試合は下級生でも戦ったことのある飯塚SCさん、前半ではミツキ君のGK抜きからの惜しいシュートや、レオン君・トウイ君のミドル等立ち上がりは良い流れでしたが、決定力にも乏しい、不吉な雰囲気を感じさせます。前半8分、相手に与えたCKからオウンゴールで先制を許します。飛んできたボールに反応したまでは良かったものの、体が自陣側に向いてしまい、クリアが入ってしまいました。

後半反撃に転じたいとことでしたが、クロスからのシュンセイ君のシュートもわずかに枠を逸れ決められず、めあてに挙げたワイドな展開もみられないまま、後半3分にGKキャッチのハンプルから追加点を奪われます。しかし直後の後半5分、相手バックパスをカットしたセイジュン君のミドルが決まり1-2、その後もレオン君～セイジュン君のホットラインで幾度もカウンターを試みるも決められないままタイムアップ。シュート数では圧倒しながらも初戦は黒星発進でした。

気を取り直しての2戦目川越福原さんとの戦いは、心配された雨が降り始めた悪天候の中、しばらく膠着状態が続きます。しかし前半14分、右CKからのヘディングで先取点を決められます。課題だったマークの甘さ、浮き球への対応の弱さを露呈してしまいました。

後半8分にもクリアミスでミドルで決められ追加点。反撃に転じたいところでゲットできたPKも相手GKのファインセーブに防がれ、このまま2戦目も敗れました。

ただシズクさんのサイド攻撃、ワヘイ君の得意のテクニックからの展開も徐々に現れ、決して引けを取らない攻防だっただけに悔しい結果でした。



少しでも上位を目指した3戦目の大和ジュニオルスさんとの試合では、ユウラさんの体を張った頼もしいディフェンス、GKシオン君の果敢な飛び出しのおかげで序盤は大きなピンチもなく、ただ攻めも単調な縦方向の攻め一辺倒で見せ場もないまま、スコアレスで前半終了です。

後半に入ると7分、相手のパスカットをセイジュン君がミドルで決め、待望の先制点です。しかし直後の10分、安易なミスで与えたペナルティーア内での間接FKから失点し追いつかれると、終了直前に与えた直接FKを決められ痛恨の敗戦でした。



《コーチ所見》

試合前に決めためあての、ワイドな攻めが、全試合を通じてほとんど見せられず、出場した選手に浸透しきれていません。攻めが縦一方で単調になり、且つ決定的なチャンスをものできないと、今回のような予選リーグ全敗という残念な結果になってしまいます。

例年この大会の参加チームはレベルが高いことは重々承知してのぞんでるなかで、全員が意識して連動しないと、紙一重の差の戦いには勝利できません。悪天候でやりにくかった点もあったけど、ボールが自分の元にあるとき以外にも相手をかき乱せる動きを心がけ、もう一つのめあてにある、競り負けない強い意識を持って全力を出し切ってほしいです。

by 田邊コーチ

